

へいせい ねん どだい かいよこはまししょうがいしゃし さくすいしんきょうぎ かい
平成29年度第2回横浜市障害者施策推進協議会

へいせい ねん がつ にち すい
平成29年11月29日（水）

ごぜん じ じ ふん
午前10時～11時30分

よこはましかいこうきねんかいかん 1 号室
横浜市開港記念会館 1号室

し だい
《次 第》

1 かい かい
開 会

2 けんこうふくしきょくちょう あいさつ
健康福祉局長あいさつ

3 ぎだい
議題
しょうがいしゃしゅうろうけいはつじぎょう こうきょうしせつかつようじぎょう しりょう
障害者就労啓発事業（公共施設活用事業）について（資料1）

4 ほうこくじこう
報告事項
だい きよこはまししょうがいしゃ ぶ ら ん ちゅうかんみなお
第3期横浜市障害者プラン中間見直し
およ しみんいけんぼしゅうほうこく しりょう
及び市民意見募集報告について（資料2）

4 そのた
その他

しょうがいしゃしゅうろうけいはつじぎょう こうきょうしせつかつようじぎょう
障害者就労啓発事業（公共施設活用事業）についてじえいあーるかんないえきこうかした
< J R 関内駅高架下 >1 しゆし
趣旨

がつ だい かいよこはまししょうがいしゃしきくすいしんきょうぎかい じえいあーるかんないえききたぐちこうかした
7月の第1回横浜市障害者施策推進協議会において、J R 関内駅北口高架下のふれ
あいショップの跡地にて、障害者の就労支援に関する事業を継続するため、施設を整備
し、運営事業者の公募を行う旨説明しました。また、本協議会の下部組織として「横浜
市市有建物を活用した障害者雇用創出・就労啓発事業における運営事業者選定委員
会」（以下、「委員会」という。）の設置について了承を得ました。

ご がつ だい かい いんかい ぼしゅうようりょう ないよう せんていほうほう けんとう
その後、8月の第1回委員会において、募集要領の内容や選定方法について検討し、
10～11月の運営事業者募集を経て、第2回委員会において運営事業者候補を選定しまし
たので、本協議会にて審議します。

2 しんぎじこう
審議事項うんえいじぎょうしゃ けつてい
運営事業者の決定うんえいじぎょうしゃこうほ じえいあーるひがしにほんぐるーぷ
(運営事業者候補 ジェイアール東日本グループ)3 いんかい いん
委員会委員しんぼ さとこ がくしきけいけんしゃ しゃかいふくし ほうせいだいがくげんだいふくしがくぶきょうじゅ
眞保 智子 (学識経験者<社会福祉>) 法政大学現代福祉学部教授かげやま まこや がくしきけいけんしゃ けいざい よこはましりつだいがくきょうじゅ
影山 摩子弥 (学識経験者<経済>) 横浜市立大学教授

くらし ひろ こ ちいきふくし かんけい
倉石 尋子 (地域福祉関係)

なかく かんない ち く みるせい いん じ どう いんきょう ぎ かいふくかいちよう
中区関内地区民生委員児童委員 協議会副会長

の もと ふみ お ろうどうぎようせい かんけい
野本 史男 (労働行政関係)

か な がわけんしやうがいしや こようそくしん せん た ー か ちよう
神奈川県 障害者雇用促進センター 課長

もり かず お べん ご し
森 和雄 (弁護士)

よこはま ししやかいふくし きよう ぎ かいしやうがいしや しえん せん た ー たんどう
横浜市社会福祉 協議会 障害者支援センター担当

り じ ほんきよう ぎ かい いん
理事 (本協議会委員)

あら い きよ し こうにんかいけい し
荒井 清志 (公認会計士)

あら い きよ し こうにんかいけい し じ むしよ
荒井清志公認会計士事務所

4 せんてい けい か 選定の経過

(1) だい かい いんかい 第1回委員会

あ かい さい び へいせい ねん がつ にち
ア 開 催 日：平成29年8月29日

い ば じょ かんないえきまえだい びる
イ 場 所：関内駅前第2ビル

う ぎ だい
ウ 議 題：

あ ぼしゅうようりよう ないよう
(ア) 募集要領の内容について

い うんえい じぎようしや せんていほうほう
(イ) 運営事業者の選定方法について

(2) だい かい いんかい 第2回委員会

あ かい さい び へいせい ねん がつ にち
ア 開 催 日：平成29年11月13日

い ば じょ よこはま し ちようしや
イ 場 所：横浜市庁舎

う ぎ だい
ウ 議 題：

あ せんてい き じゆん かくにん
(ア) 選定基準の確認

い おうぼ じぎようしや しゃ ぶれ せんてーしよん およ び ひありんぐ
(イ) 応募事業者(3者)からのプレゼンテーション及びヒアリング

(ウ) 採点及び集計

(エ) 運営事業者候補の選定

エ 選定結果 (委員6名×50点=300点満点)

・運営事業者候補：ジェイアール東日本グループ 250点

・団体2 223点

・団体3 184点

審査項目	評価点	比重	配点	配点計	運営事業者候補
1 理念及び応募理由	5	×1	5	30	24
2 事業実績等	5	×1	5	30	27
3 経営状況の安定性	5	×1	5	30	30
4 事業概要	5	×1	5	30	23
5 事業計画の実現性	5	×1	5	30	27
6 障害者への配慮	5	×2	10	60	48
7 地域連携	5	×1	5	30	25
8 普及啓発・地域貢献	5	×2	10	60	46
		ごうけい 合計	50	300	250

※ いずれかの審査項目の評価点が最低点(1点)と評価された応募者は、得点の如何に

関わらず失格。

※ 審査項目の合計点数（300点）が最低制限基準（6割(180点)）に満たない場合は失格

。

※ 応募者が1者であっても、ア又はイとなった場合は選定されず、再度公募を行う。

オ 提案内容

香り高いコーヒーと軽食を提供し、来店された方がくつろげるカフェ

【障害者雇用について】

・ 障害者を常時1名配置 + 他2名の従業員配置

・ 就労支援センター等と連携

・ 障害者が安心して、継続して働ける職場環境づくり

【普及啓発活動について】

・ 障害者施設等との連携による地産食材を使用したメニュー開発

・ 障害者施設等の商品、作品等の展示、販売の実施

・ 障害者のスポーツ活動の様子や絵画等の作品の展示、販売の実施

・ JR 東日本 関内駅及び周辺の駅の構内スペースを用いた障害者雇用の普及

活動など

5 スケジュール

平成29年7月6日

第1回横浜市障害者施策推進協議会（下部組織設置の承認）

29年8月29日

第1回委員会開催（募集要領及び選定方法の審議）

がつ におち
10月25日 おう ぼう けつ け かい し
応募受付開始

がつ か
11月7日 おう ぼう し め き り
応募締切

がつ におち
11月13日 だい かい い いん かい かい さい じ ぎ ょう し ゃ け ー じ ゅ せ ん ち ー い
第2回委員会開催 (事業者候補選定)

がつ におち
11月29日 だい かい よ こ は ま し し ょう が い し ゃ し さ く す い し ん き ょう き かい じ ぎ ょう し ゃ け っ て い
第2回横浜市障害者施策推進協議会 (事業者決定)

がつ よてい
12月 (予定) きょう て い い け つ
協定締結

ねん ど
30～31年度 せつ け い せい び
設計・整備

ねん ど
31年度 けい や く て い け つ か し つ け かい し
契約締結・貸付開始

さんこう げんざい じょうきょう
[参考]現在の状況



とう が い ち ひ が し み よ う す
< 当該地を東から見た様子 >



だい きよこはまししょうがいしゃぶらんちゅうかんみなお およ
第3期横浜市障害者プラン中間見直し及び
しみんいけんぼしゅうほうこく そくほうばん
市民意見募集報告（速報版）について

だい きよこはまししょうがいしゃぶらんちゅうかんみなお しみんいけんぼしゅう じっし じっしけつ
第3期横浜市障害者プラン中間見直しにおいて市民意見募集を実施しました。実施結
かおよ みなさま いただ ごいけんどうたいほんし かんが かつ つぎ ほう
果及び皆様より頂いた御意見等に対する本市の考え方をまとめましたので次のとおり報
こく
告します。

じっしがいよう
1 実施概要

じっし きかん
(1) 実施期間

へいせい ねん がつ にち げつようび がつ にち すいようび
平成29年9月25日（月）から10月25日（水）

しりょうはいふすう
(2) 資料配付数

りーふれっと ぶ
リーフレット 3,400部

しょうさいばん ぶ
詳細版 2,500部

しゅうちほうほうとう
(3) 周知方法等

あ りーふれっととおよ しょうさいばん はいふ
ア リーフレット及び詳細版の配布

しやくしよ しみんじょうほうせんたー くやくしよ しょうがいしゃちいきかつどうほーむ しょうがいしゃだんたいとう
市役所（市民情報センター）、区役所、障害者地域活動ホーム、障害者団体等

い しみんせつめいかい かいさい のさんかしゃすう にん
イ 市民説明会の開催 <延べ参加者数：116人>

がっ にち もくようび じ ふん から じ ふん かいじょう よこはまらぼーる
・10月12日（木）10時30分～12時30分（会場：横浜ラポール）

がっ にち とうようび じ ふん から じ ふん かいじょう ういりんぐよこはま
・10月14日（土）14時00分～16時00分（会場：ウィリング横浜）

がっ にち きんようび じ ふん から じ ふん かいじょう あさひくくみんぶんかせんたー
・10月20日（金）10時00分～12時00分（会場：旭区区民文化センター）

う しょうがいかんけいだんたい せつめい けい だんたい
ウ 障害関係団体への説明 <計9団体>

よこはましんたいしょうがいしゃだんたいれんごうかい
・横浜市身体障害者団体連合会

よこはましんしんしょうがいじしゃまも かいれんめい
・横浜市心身障害児者を守る会連盟

よこはましせいしんしょうがいしゃかぞくれんごうかい
・横浜市精神障害者家族連合会

よこはましちてきしょうがいかんれんしせつきょうぎかい
・横浜市知的障害関連施設協議会

よこはまししょうがいしゃちいきぎぎょうじょれんらくかい
・横浜市障害者地域作業所連絡会

よこはましちいきかつどうほーむれんらくかい
・横浜市地域活動ホーム連絡会

よこはましぐるーぷほーむれんらくかい
・横浜市グループホーム連絡会

よこはましせいしんしょうがいしゃちいきせいかつしえんれんごうかい
・横浜市精神障害者地域生活支援連合会

よこはましじへいしょうじ しゃおや かい
・横浜市自閉症児・者親の会

え ほんしうえぶさいと こうほう よこはま がつごう けいさい とう
エ 本市ウェブサイト、広報よこはま10月号への掲載等

2 実施結果

(1) 意見提出者数：165人，5団体

うちわけ 内訳	電子メール	39人
	郵便	43人
	FAX	2人
	直接持参	0人
	市民説明会	44人
	その他（窓口持参、障害関係団体説明・意見交換など）	37人
	※ 意見書等提出団体 ◆ 横浜市精神障害者地域生活支援連合会 ◆ 横浜市 自閉症児・者親の会 ◆ 3連絡会（横浜市グ ループホーム連絡会、横浜市障害者地域作業 所連絡会、横浜市地域活動ホーム連絡会）	5団体

(2) 意見総数：353件

ア プランに掲げる5つのテーマ別内訳

テーマ1	出会う・つながる・助け合う	67件
テーマ2	住む、そして暮らす	102件
テーマ3	毎日を安心して健やかに過ごす	46件
テーマ4	いきる力を学び・育む	76件
テーマ5	働く・活動する・余暇を楽しむ	36件
	計画全体に関する御意見	17件
	その他	9件

イ 提出された御意見への対応の内訳

	意見の趣旨が計画に含まれるもの	53件
	計画に反映するものや、今後対応していくもの	24件
	計画推進の参考とさせて頂くもの	219件
	その他（個別的な意見、感想など）	57件

3 今後のスケジュール (予定)

日程	内容	内容
1月		第4回横浜市障害者施策検討部会
2月	「第3期横浜市障害者プラン改訂版」原案報告	横浜市障害者自立支援協議会 第3回横浜市障害者施策推進協議会
3月		市会常任委員会

4 意見の内容と本市の考え方 (抜粋)

※ 「意見の内容」は、意見提出者の住所及び氏名などの個人情報等を除き、原則提出された意見の原文を掲載しています。

	意見の内容	本市の考え方
テーマ1	出会う・つながる・助け合う	
1	それぞれの障害のある人達が、地域の中で、実際に色々な支援を受けながら生き生きと暮らしているんだよというのが、意外と知られていない。いわゆる共生していくということを、どのように市民に知らせていくかそれについて改めて考えていただけるとありがたい。	地域のあらゆる方が、「支え手」と「受け手」に分かれるのではなく、地域、暮らし、生きがいをもとに創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向け、当事者による障害理解のための講演会や作品展の開催など様々な取組を展開しています。こうした取組を障害者週間等あらゆる機会を通して発信します。
2	副学籍による交流教育の推進よりも、個別級と交流級、または個別級の中にも幅広くいろいろなタイプの方がいるので、その中でお互いの理解が深まる取組が必要なのではと思っておりましたが、「手引きがあり改訂される」との事で、副学籍による交流教育が行われる事から良い影響に繋がる事もあるのかもしれないと思いました。	頂いた御意見を踏まえ、引き続き、一般学級と個別支援学級の交流を推進するとともに、副学籍による特別支援学校の子ども達と地域の学校との交流及び共同学習を推進します。

	意見の内容 いけん ないよう	本市の考え方 ほんし かんが かつ
3	<p>けいかくそうだん し えん りよう じ 計画相談支援ですが、利用したくても事 ぎようしゃ て た う 業者から手が足りないので受けられな い。と断られている現状があります。 ことわ げんじよう そのような現状の中、セルフプランで げんじよう なか せる ふ ぶらん の申請を H 30年度末で終了すると しんせい へいせい ねん ど まつ しゅうりよう いうことは切り捨てだと感じます。 き す かん セルフプランを認めているのでいつま せる ふ ぶらん みと でも計画相談の利用が進まない訳では けいかくそうだん りよう すす わけ ないということをご理解していただき り かい たいと思います。 おも</p>	<p>けいかくそうだん し えん くに ほうしん へいせい ねん ど 計画相談支援は、国の方針で平成27年度 しょうがいふくし さ ー び す と う り よ う す べ から障害福祉サービス等を利用する全 かた たいしょう げんざいほんし ての方が対象となりました。現在本市 とうじしゃ ごかぞく さーびす では、当事者や御家族が「サービスにつ いこうかくにんしよ くやくしよ しんせい いての意向確認書」を区役所に申請し、 さーびす しきゅうけつてい おこな サービスの支給決定を行っています。 とりあつか けいかくそうだん し えん この取扱いについては、計画相談支援 じゅうそく か と き たいおう が充足するまでの過渡期の対応である へいせい ねん ど まつ しゅうりよう ため、平成30年度末までに終了し、そ いこう けいかくそうだん し えん り よ う れ以降は、計画相談支援の利用もしくは じぶんじしん さーびすとうりようけいかく さくせい 自分自身でサービス等利用計画を作成 せる ふ ぶらん ぜんめんてき いこう するセルフプランへの全面的な移行を めざ 目指します。</p>
4	<p>かんじ かつ かな わかりやすく漢字やカタカナには、かな ふ を振っていますが、内容的な部分は障 ないようてき ぶぶん しょう 害を持っている私たちに理解できな がい も わたし り かい いと思います。文書が難しすぎます。 おも ぶんしょ むずか あたま いた かんたん 頭が痛くなりそうです。もっと簡単に わかりやすくしていただきたいと思 おも います。そして何をご意見として出して なに いけん だ いかよくわかりません。</p>	<p>かんじ かつ かな る び 漢字やカタカナにルビをふるだけでな く、説明で補うなど配慮します。また、 せつめい おぎな はいりよ プラン策定時に発行した「誰にでも分か ぶらん さくていじ ほんこう だれ わ りやすい版」の改訂版も策定する予定 ばん かいいていばん さくてい よてい です。</p>
5	<p>さいがいたいさく ようえん ごしや 災害対策において、要援護者については じちかい はい かつ みんせい 自治会に入っているという方は民生委 いん はあく おも 員さんなどが把握されていると思 はい ひと います。しかし、入っていない人たちは、ど はあく かつ じょうほう のようにして、把握すべき方に情報 も を持っていくのでしょうか。</p>	<p>ようえん ごしや はあく じちかい ちよう 要援護者の把握については、自治会・町 ないかい みんせい い いん みまも 内会や民生委員による見守りのほか、お ちやかい さろんとう さんか かお み 茶会やサロン等への参加による顔の見え かんけい ちいき さまざま る関係づくりなど、地域によって様々な とりくみ す りよう 取組があります。また、お住まいの区に御 そうだん みんせい い いん ほうもん 相談いただければ民生委員が訪問いたし ごきんじよ ちいき かつ かおみし ます。御近所や地域の方と顔見知りにな さいがいじ たす あ ることで、災害時の助け合いにつながる かんが ものと考えています。</p>

	意見の内容 いけん ないよう	本市の考え方 ほんし かんが かつ
テーマ2 住む、そして暮らす		
6	退院からグループホームへの移行には、ハードルが高い。その中間の支援制度はないのか。	国では、障害者支援施設等の入所中又は精神科病院に入院中に、グループホーム等の空室を活用し、体験的な宿泊支援を行うことによって円滑な移行につなげていくことを想定しています。
7	施設整備について、今の施設整備手法は設置する法人に任されています。障害のある人が身近な場所で生活し日中活動を行うためには、グループホームや日中活動先は各区に作れるよう、整備手法を検討してください。障害福祉計画の数値目標を各区ごとに設定してください。	施設が少ないと思われる地域に対して施設新設時の補助金を増額しています。グループホームが設置可能な土地や建物の確保のしやすさが区によって異なるといった事情から、目標とする入居定員数全体に影響がでる可能性があるため、各区に均等に設置していくことは困難な状況です。
8	入所施設の在り方について、入所施設は終のすみかではなく、一定程度通過型として、地域生活移行を進めてください。	本人の意向や状態像に応じた多様なニーズをふまえた住まいのあり方の検討や地域生活を支える仕組みづくりを行っています。
9	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築とありますが、すでに構築されている地域包括ケアシステムでは精神障害に対応していないのでしょうか。	高齢者を中心とした地域包括ケアシステムについては現在構築を行っているところですが、本市では、これまでも精神障害者の地域生活を支援するための精神障害者生活支援センターを各区に設置し、身近な地域での支援に取り組んでいます。精神科病院に入院している患者の早期退院を目的に、地域生活への移行・定着をさらに促進するため、保健、医療、福祉関係者による協議の場を設けるなど、精神障害者に対応した地域包括ケアシステムを構築します。

	意見の内容 いけん ないよう	本市の考え方 ほんし かんが かつ
10	<p>精神障害者が1人暮らしをしようと賃貸アパートを探そうとすると、借りるのが難しいとよく聞きます。市が借り上げるなどして希望するところに住めるようにしてほしいです。</p>	<p>国により、新たな住宅セーフティネット制度として、一定の基準を満たす空き家等の登録制度に加え、住宅相談や居住支援を行う法人の指定制度が創設されました。本市においても制度を活用し、障害者の居住確保に向けた取組を進めます。</p>
11	<p>高齢化・重度化対応のグループホームの検討を踏まえての対応が充分ではないと思います。入所施設を作らない中、グループホームへの厚い支援体制の充実に不可欠です。このままだと医療ケアの必要な障害者や重度の発達障害者の住まいは見つからないままです。</p>	<p>高齢化・重度化のグループホームについては本市が独自で看護師等の人員体制を加配し運営している事業所が3か所ありますが、今後拡大するには、運営面での財源等を確保する必要があります。現在、国では高齢化・重度化に対応したグループホームの報酬・基準等について議論が行われています。こうした国の動向を見据えながら検討します。</p>
12	<p>障害のある方が、一刻も早く安心して地域の中で生活できるようにその支援機能を持った拠点の早急な整備をお願いしたい。</p>	<p>本市では、障害のある方が安心して地域で暮らせるよう法人型地域活動ホームや精神障害者生活支援センターを整備してきました。今後、これらの施設が連携して相談、緊急時の受入れ、グループホームの空き状況の集約等を行うネットワーク型の「地域生活支援拠点」の機能を18区に構築するなど生活支援の強化を図ります。</p>

	意見の内容 いけん ないよう	本市の考え方 ほんし かんが かつ
テーマ3	毎日安心して健やかに過ごす まいにち あんしん すこ す	
13	知的障害者対応専門外来について市内 ちてきしょうがいしゃたいおうせんもんがいらい しな 3病院で実施中というのですが、そ びょういん じっしちゅう の医療サービスを充実させることを検 いりょうさーびす じゅうじつ けん 討して欲しい。例えば、「サービス日数の とう ほ たと さーびすにつう 増加」や「予防医療の観点から人間ドッ ぞうか よぼういりょう かんてん にんげん どつ クなどの受付実施」「病院の数を増加」な く うけつけじっし びょういん かず ぞうか どが挙げられる。よろしくお願ひします。 ど あ ねが	専門外来については、平成29年度中に せんもんがいらい へいせい ねんどちゅう 4病院目の実施を予定しています。医 びょういんめ じっし よてい 療サービスの充実や日数の増加につ りょうさーびす じゅうじつ につう ぞうか いては、今後検討します。 こんごけんとう
14	医療的ケア児・者は年々増加していま いりょうてきけ あじ しゃ ねんねんぞうか すので、医療的ケア児・者等に対する関 いりょうてきけ あじ しゃとう たい かん 連分野の支援を調整するコーディネー れんぶんや しえん ちょうせい こーでいねー ターの速やかな配置をお願いいたしま たー すみ はいち ねが す。また、横浜市はとてほく、訪問診 よこはまし へろく ほうもんしん 療・訪問看護・ヘルパー等々各区で事 りょう ほうもんかん ご へる ぱー とうとうかくく じ 情も異なりますので市で1人とは言わ じょう こと し ひとり い ず将来的には各区1人の配置の検討を しょうらいてき かくく にん はいち けんとう お願いいたします。 ねが	平成30年度にコーディネーターに対す へいせい ねんど こーでいねー たい る研修等を行い、平成31年度から配置 けんしゅうとう おこな へいせい ねんど はいち する予定です。 よてい 今後、関係部局が連携し、計画を着実 こんご かんけいぶきょく れんけい けいかく ちゃくじつ に推進します。計画を推進するにあた すいしん けいかく すいしん り、頂いた御意見を参考にさせて頂き いただ ごいけん さんこう いただ ます。 き
15	エスカレーターのこと困っている。今 えすかれーたー こま いま 左側に乗って右側が歩行となっている ひだりがわ の みぎがわ ほうこう が、手術の影響で左をつかむというの しゅじゅつ えいきょう ひだり が難しい。右をつかんで待っていて後ろ むづか みぎ ま うし から肩をたたかれてトラブルになった。 かた とらぶる 横浜市として対策がお願いできないか。 よこはまし たいさく ねが 障害者はエスカレーターに乗ってはい しょうがいしゃ えすかれーたー の けないのではないかとお思ってしまう。 おも	本市福祉のまちづくり推進指針では、エ ほんしふくし すいしんししん え スカレーターでの歩行が危険であるこ すかれーたー ほうこう きけん とや、片麻痺の方やケガ等で片側が不自 かたまひ かた けがとう かたがわ ふじ 由な方のためにも、左右の手すりが常に ゆう かた さゆう て つね 使用できる状況が望ましいとしてい しょう じょうきょう のぞ ます。今後も利用マナーの向上や思い こんご りょうまなー こうじょう おも やりの心の醸成などに取り組み、様々 こころ じょうせい とく く さまざま な立場の方が暮らしやすいまちづくり たちば かた く を推進します。 すいしん

	意見の内容 いけん ないよう	本市の考え方 ほんし かんが かつ
16	<p>よこはまし えいじゆうたく 横浜市営住宅からろうあ者が2人追い 出されました。理由は家賃滞納。実際 にはそれだけの問題ではなく、コミュニケ ーションの問題など 聴覚障害の問題 があるのではないかと思います。ろうあ 者はコミュニケーションの問題から民 間住宅に入れないという不安を常に持 っています。</p>	<p>しょうがい りゆう にゆうきよ きよひ しょうがい 障害を理由とした入居の拒否は障害 者差別解消法で禁止されています。障 害者世帯には市営住宅抽選時の当選倍 率優遇を行っており、家賃は申請により 減免しています。しかし、文書等による 再三の催告によっても家賃滞納が解消 されない場合は、法令に基づき住宅明け 渡しを求めます。なお、明け渡しにより 福祉的支援が必要となる方には、区役所 と連携した支援を行っています。</p>
<p>てーま 4 いきる力を学び・育む ちから まな はぐく</p>		
17	<p>りょういく しょうがいじ さーびす 療育について、障害児のサービスにつ いても、他のサービスと同様に、人日だ けでなく、人分の記載をお願いしたい。</p>	<p>しょうがいじ さーびす の にんずう 障害児のサービスについては、延べ人数 を「人日」で標記していますが、利用人 数についても重要な指標であることか ら、今後、計画を推進するにあたり頂い た御意見を反映させていただきます。</p>
18	<p>じどうはつたつしえん ほうか ごとうでい さーびす 児童発達支援と放課後等デイサービスが 目標値を上まわる量となっており、さら に増やす計画となっています。急激に増 えており、質はどうか、ある程度の 療育の質が保たれているのか、心配で す。</p>	<p>げんざい じぎょうしょ じつち しどう けんしゅうとう 現在も事業所への実地指導や研修等を 行い、サービスの質の確保に向けた取り 組みを実施しています。今後も質の確保 にも努め計画を推進します。</p>
19	<p>けいかくそうだん とく しょうがいじ もくひょう 計画相談について、特に障害児の目標 は大丈夫なのかといつも思っています。 通園に通っている方以外のほとんどの方 は意向確認書で済ませているというのが 現状ではないかと思っています。また、医 療と教育と福祉が連携して欲しいと感 じており、計画相談がその一助になったら いいということを期待を込めて待ち ます。</p>	<p>しょうがいじ けいかくそうだん しえん しょうがいじ しょうだん し 障害児の計画相談支援（障害児相談支 援）の目標達成に向け、各関係法人等に、 必要な研修受講の奨励や、事業所開所 の奨励を行うほか、関係各所に事業概 要の説明や協力を依頼します。障害児 相談支援の推進により、医療、福祉、教 育の連携がより進むよう、取組を進めま す。</p>

	意見の内容	本市の考え方
20	<p>医療的ケアを必要とする子供や重症身体障害児の放課後等デイサービス事業について。医療的ケアを行うスタッフ、バギーのまま送迎できる大型の送迎車、多くの子供が休んだり、皆バギーや車椅子を必要とするのでスペースも必要であり運営に費用がかかり他の障害種別に比べて圧倒的に数が少ないです。加算の工夫をしていただきたいです。重症児も医療ケア児も肢体不自由の程度が軽度の子供も共に過ごせるような場所があったらいいなと思います。</p>	<p>重症心身障害児の方が通える放課後等デイサービスは、平成27年度からの3年間で6箇所の増となっています。今後、各法人に働きかけ、受入れ体制の強化や事業所の増設に向けて取り組みます。計画を推進するにあたり、頂いた御意見を参考にさせていただきます。</p>
21	<p>特別支援学校の再編整備プランを見ている意見です。人口増加の著しい横浜市北東部の特別支援学校をなくさないでほしいと思います。どうぞよろしくお願ひします。</p>	<p>市北東部にお住まいの方については、引き続き、新たに設置される県立特別支援学校及び既存の県立・市立特別支援学校で受け入れます。</p>
22	<p>特別支援学校について住んでいる地域の学校に通えますよう、位置や人口に似合った設置をお願いします。横浜市は近年は学童人口が減少して廃校となった小学校をリフォームして身体の不自由な子供が通う特別支援学校を新たに作っていますが（元々ある特別支援学校を閉校にして新たな場所に作っている）、遠い場所に通う負担、スクールバスを運営する費用も大きいと思います。インクルーシブ教育を国では推奨していますが横浜の子供も地域で学べるようにお願いします。</p>	<p>肢体不自由特別支援学校の再編整備においては、できるだけ居住地から近い特別支援学校への就学ができるよう就学相談を行っていきます。また、引き続き、個々の障害の程度や状態に応じた必要な教育の場を充実しながら、子ども達の成長を促がせるよう、インクルーシブ教育システムの構築にも取り組みます。</p>

	意見の内容	本市の考え方
23	<p>福祉の人材不足の状況はより一層深刻になっています。特に入所施設やグループホームなど夜間の勤務を伴う職種は厳しい状況が続いております。この状況は福祉分野全体に係ることであり、障害福祉だけの取組で改善できることには限りがあると思います。今後の少子高齢化が進むことを考えた上での、横浜市としての福祉の取組みが求められていると思います。あらたに健康福祉局だけでなく、横浜市の関係部署を横断する専門部会等を立ち上げ、横浜市として福祉の人材確保の方針として打ち出してください。</p>	<p>平成27年度には「福祉のしごとフェア」に関連団体と参画しましたが、参加者が少なく苦慮しています。現在はどの分野も有効求人倍率が高く人材を確保することが課題となっており、障害福祉分野でもより深刻化しています。こうした状況をふまえ、本市では事業者とともに人材確保の方策について取り組んでいきます。</p>
<p>テーマ5 働く・活動する・余暇を楽しむ</p>		
24	<p>もっと仕事ができますようにしてください。一般の仕事をやりたいです。増やしてほしい。仕事をです。</p>	<p>施設から一般就労への移行を推進するため、施設の職員を対象に障害者を雇用する企業での就業体験を実施するなど職員の就労支援スキルの向上や就労に向けた意識付けに取り組んでいます。併せて、就労支援センターによる支援や、セミナー等を通じ、企業への啓発を進めます。</p>
25	<p>日中活動について、量的な拡充が進む一方で行動障害や医療ケアなどの重度者が疎外されている状況があります。単なる数値目標ではなく、具体的なニーズに即した目標設定をしてください。『地域活動支援センターについては必要数を確保しつつ障害福祉サービスへの事業移行を進める』とのことですから、移行を促進するための補助金の拡充をしてください。</p>	<p>引き続き、市内6方面別に常に医療的ケアが必要な障害児・者等を支援する多機能型拠点の整備を進めるとともに、行動障害や医療ケアのある方などの通所施設数の拡大に向けた施策を検討します。また、地域活動支援センター作業所型から障害福祉サービス事業への移行に伴う補助金については、引き続きあり方を検討します。</p>

	意見の内容 いけん ないよう	本市の考え方 ほんし かんが かつ
26	くるまい す たくしー ふ ほ しい いま 車椅子タクシーを増やして欲しい。今 だいすう かいしゃ かぎ は台数や会社が限られてしまっている ため ことわ 為、断られてしまう事が多く、利用した いときにつか いときに使えない。	ゆ に ばー さる で ざ い ん た く しー ゆー で いー ユニバーサルデザインタクシー（U D たくしー しやりようこうにゆうひ タクシー）については、車両購入費の いちぶ ほじよ どうにゆう すいしん 一部を補助し、導入を推進しており、 へいせい ねんど ねんど りいけい だい 平成24年度から28年度までに累計76台 ほじよ おこな ひ つづ ふきゆうそく の補助を行いました。引き続き普及促 しん と く 進に取り組みます。
27	しょうがいしゃ あーと しえん きぼう 障害者のアートの支援を希望します。	しょうがいしゃ しゅたいてき ぶん かげいじゅつかつどう さん か 障害者が主体的に文化芸術活動へ参加 する環境を整備するため、人材育成研 しゅう じゃんる と きかくてん かいさいとう 修、ジャンルを問わない企画展の開催等 つう かんけいだんたい ねつとわーくか を通じて、関係団体をネットワーク化し、 きょうぎかいきのう こうちく めぎ 協議会機能の構築を目指していきます。
28	おりんぴっく ぱらりんぴっく どう 2020オリンピック・パラリンピックの東 きょうかいさい しょうがいしゃす ぼーつ ぶんかかつどう 京開催は、障害者スポーツ・文化活動 にほん ねづ ぜつこう ちゃんす を日本に根付かせる絶好のチャンスであ ると思います。今回のプランの見直しは、 おも こんかい ぶらん みなお まさに時期が重なり、横浜での取組が期 たい ししょうがい ひと ひと 待されます。障害がある人もない人も、 とも す ぼーつ ぶんか たの むーぶめん 共にスポーツや文化を楽しむムーブメン と おおこし よこはま れがしー トを起こし、それを横浜でのレガシーに できればすば おも できれば素晴らしいと思います。	とうきょう おりんぴっく ぱらりんぴっ く しょうがいしゃす ぼーつ ぶんかかつどうしえん 東京2020オリンピック・パラリンピ ックは、障害者スポーツ・文化活動支援の こうき とら ちやくじつ とりくみ すい 好機として捉えており、着実に取組を推 しん 進します。
けいかくぜんたい かん いけんとう 計画全体に関する意見等		
29	だい きよこはまししょうがいしゃぶらん 第3期横浜市障害者プランで、やまゆ り園の事件に触れていない。前文で明確 ふ ひつよう えん に触れることが必要。やまゆり園には、 よこはまし おお にゆうしよしや おく 横浜市からも多くの入所者が送られて おり、しょうがいしゃぶらん なに きさいしな おり、障害者プランにも何も記載しな りかい いことには、理解しがたい。	つく い えん ほっせい じけん 「津久井やまゆり園」で発生した事件は、 おお しょうげき ふあん あた ひとり 大きな衝撃と不安を与えました。一人ひ とりがしょうがいしゃ りかい ふか へんけん き とりが障害者への理解を深め、偏見や差 べつ な じゅうよう かんが 別を無くすことが重要と考へ、またこ のような事件が二度と起こらないよう、 きょうせいしゃかい じつげん むほんし けつてい 共生社会の実現に向けた本市の決意を ぶらん けいさい プランに掲載します。

	意見の内容 いけん ないよう	本市の考え方 ほんし かんが かつ
30	<p>しょうがいしゃしえん がか きかん ひと お 障害者支援に関わる機関、人も増えて いますが、本プランの周知があまり進 んでいません。プラン・テーマの個別計 画にもっと意見を出したいところです が、声を出すべき人が出せてない、それ より届いていないと感じています。</p>	<p>ぶらん とりくみじょうきょう ねんどし プランの取組状況については毎年度市 民説明会を開催しているほか、関係団体 や各行政機関等の協力を得ながら周 知を図っています。今後も多くの方に周 知できるよう検討します。</p>